

## バンクーバー便り11

バンクーバー時間：2023年7月30日(日)午前11時30分

日本時間：2023年7月31日(月)午前3時30分

今回はバンクーバーで働いておられる日本人医療従事者の BBQ パーティについてお話をします。日本では夏になればピヤガーデンということになるでしょうが、北米では一般に BBQ パーティが行われます。家内の関係で Nurse Practitioner (日本にはこれに相当する職種はありませんが、手術以外のほとんどの医療行為を実施できる準医師的な看護師で NP と省略されます)と Registered Nurse(日本では正看護師に相当し RN と略称されます)のパートナーのお二人が、毎夏、ご自宅で開いておられるパーティに招待されました。同伴の子ども達を含めると 30 名位の方が集まっておられました。ちなみに、Licensed Practical Nurse (LPN)は日本の准看護師にあたります。

ホストのお二人は LGBTQ+ の G の方で、結婚しておられます。そのお一人はカナダに 30 年以上生活をされています。トイレの壁にはお二人の仲睦まじい写真が飾ってあり、ここはカナダだなと実感しました。参加者も多くが RN です。皆さんは日本とは異なる文化の中で、語り尽くせないご苦労をされてきたと思いますが、どなたも明るく溌剌としておられました。ここでは「一番居心地のいい自分のままで過ごせる」ことを実感します。そうすると「一番居心地のいい自分」がどんな自分なのかを自覚しなくてはならず、人の目ばかりを気にしているとそんな自分はみえてこないかもしれません。とはいっても棒弱無人な人間になる訳ではなく、自分を正當に評価している人は他の人に対しても対等にそして大切にできるのではないでしょうか。さらにプロフェッショナルの認識も異なる点があるように思えます。日本は長梯子、欧米は傘の骨という例えになるかもしれません。つまり、日本では医療プロフェッショナルは長梯子の上下に登っていますが、ここでは傘の骨の一本一本にプロフェッショナルがぶら下がっています。ですから、上下ではなく隔たりとして互いに尊重でき、それ故にチーム医療も一層力を発揮することになります。

パートナーのお二人が準備された料理の数々をいただきました。日本ではあまり気にもしないお稲荷さんやちらし寿司が、カナダの限られた食材で実に美味しく作られていました。家内も RN や NP へ向けて多くの体験談や有益な情報をいただくことができました。中でもパーティを介して得られた最高のものは、勇気をいただける人々とお近づきになれたことでした。人にとって人以上の財産はないのかもしれませんが、そして自分で決めて生きる勇気を信頼できる人達と分かち合えることが、真に生きる自由をさらに豊かにするように思えました。

短い時間で失礼しようと思った最初は思っていたのですが、熱く燃え立つお二人の心に我等の身も焦がれてパーティの最後までお邪魔をすることになりました。お二人のお住まいはバンクーバーの高台にあり、広いテラスから街の高層ビルや緑豊かな公園が望めます。お家の広いバックヤードで記念の集合写真を撮り、ホスト役のお二人の温かいおもてなしに感謝をしながら、夕刻の強い日差しに白く浮き上がるお宅を辞しました。以上です。

